

やってみようとする気持ち

R7・11・4



保育士から「ごはん」というワードが聞こえると、自らサークルをくぐり配膳台の前でスタンバイ！ 準備するものや流れがわかり、テーブル・椅子を指差し待っている子、保育士のエプロン・三角巾を持って来たり、身に着けたりする姿も見られるようになりました。

大人がしていることの真似から始まることも多いですが、毎日のくり返しの中で、一つ一つ理解し 見通しが持てるようになってきた子どもたちは、自分でできることが増えています。

やってみようとする気持ち、一緒にやる時間を大切にしながら、日々過ごして行きたいです 😊